

降誕後第2主日特祷

全能の神よ、あなたは御子の降誕によって、人となられた言の新しい光を私たちに注がれ、満ち溢れる愛を示してくださいました。私たちが御子の光のうちに歩み、その愛にとどまって、完全な喜びを知ることができますように。主は父とともにおられ、聖霊の交わりのうちに一体の神であって、世々に生きすべてを治めておられます。 **アーメン**

旧約聖書 エレミヤ書31章7－14節

31:7 主はこう言われる。ヤコブのために喜び歌い、国々の頭のために叫び声を上げよ。声を響かせ、賛美して言え。「主よ、あなたの民をお救いください、イスラエルの残りの者を」と。8 今、私は彼らを北の地から連れ戻し、地の果てから呼び集める。その中には目の見えない人も、足の不自由な人も、身ごもった女も、臨月の女も共にいる。大いなる集団がここへ帰って来る。9 彼らは泣きながら帰って来る。私は彼らを慰めながら導き、水の流れに沿って行かせる。まっすぐな道で、つまづくことはない。私はイスラエルの父であり、エフライムこそ私の長子だからだ。10 諸国民よ、主の言葉を聞け。遠くの島々に告げ知らせて言え。「イスラエルを散らした方はこれを集め、自分の群れを牧する者のようにこれを守られる。」11 主はヤコブを救い出し、彼より強い者の手から贖われた。12 彼らは来て、シオンの丘で喜び歌い、主の恵みによって晴れやかになる。穀物、新しいぶどう酒と新しいオリーブ油、羊や牛の子らで、彼らの命は潤う園のようになり、再び衰えることはない。13 その時、おとめは踊って喜ぶ、若者も老人も一緒になって。私は彼らの嘆きを喜びに変え、彼らを慰め、悲しみに代えて喜びを与える。14 また祭司を豊かさで満ち足らせ、私の民を良いもので飽かせる——主の仰せ。

詩 編 第147編12－20節

- 12 エルサレムよ、主をほめたたえよ || シオンよ、あなたの神を賛美せよ
- 13 主はあなたの城門のかんぬきを堅くし || あなたの中に住む子らを祝福して下さった
- 14 あなたの領土に平和をもたらし || 最上の小麦であなたを満たす
- 15 仰せを地に送ると || 御言葉は速やかに走る
- 16 主は羊の毛のように雪を降らせ || 灰のように霜をまき散らす
- 17 氷をパン屑のように投げる || その冷たさに誰が耐えられようか
- 18 主が御言葉を送ると、それらは溶け || 息を吹きかけると、水が流れる
- 19 主はヤコブに御言葉を || イスラエルに掟と法を告げる
- 20 どの国に対してもこうしたわけではなかった || 彼らは裁きを知らなかった。ハレルヤ

使徒書 エフェソの信徒への手紙 1章3－14節

1:3 私たちの主イエス・キリストの父なる神が、ほめたたえられますように。神はキリストにあって、天上で、あらゆる霊の祝福をもって私たちを祝福し、4 天地創造の前に、キリストにあって私たちをお選びになりました。私たちが愛の内に御前で聖なる、傷のない者となるためです。5 御心の良しとされるままに、私たちをイエス・キリストによってご自分の子にしようと、前もってお定めになったのです。6 それは、神がその愛する御子によって与えてくださった恵みの栄光を、私たちがほめたたえるためです。7 私たちはこの御子において、その血による贖い、すなわち罪の赦しを得ているのです。これは、神の豊かな恵みによるものです。8 神は、この恵みを私たちの上に溢れさせ、あらゆる知恵と思慮深さをもって、9 御心の秘義を私たちに知らせてくださいました。これは、前もってご自身でお決めになっていた御心によるものであって、10 時が満ちるといふご計画のためです。それは、天にあるものも地にあるものも、あらゆるものが、キリストのもとに一つにまとめられることです。11 キリストにあって私たちは、御心のままにすべてのことをなさる方のご計画に従って、前もって定められ、選び出されました。12 それは、キリストに以前から希望を抱いている私たちが、神の栄光をほめたたえるためです。13 あなたがたも、キリストにあって、真理の言葉、あなたがたの救いの福音を聞き、それを信じ、約束された聖霊によって証印を受けたのです。14 聖霊は私たちが受け継ぐべきものの保証であり、こうして、私たちは神のものとして贖われ、神の栄光をほめたたえることになるのです。

福音書 ヨハネによる福音書 1章《1—9》、10—18節

《1:1 初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。2 この言は、初めに神と共にあった。3-4 万物は言によって成った。言によらずに成ったものは何一つなかった。言の内に成ったものは、命であった。この命は人の光であった。5 光は闇の中で輝いている。闇は光に勝たなかった。6 一人の人が現れた。神から遣わされた者で、名をヨハネと言った。7 この人は証しのために来た。光について証しをするため、また、すべての人が彼によって信じる者となるためである。8 彼は光ではなく、光について証しをするために来た。9 まことの光があった。その光は世に来て、すべての人を照らすのである。》

10 言は世にあった。世は言によって成ったが、世は言を認めなかった。11 言は自分のところへ来たが、民は言を受け入れなかった。12 しかし、言は、自分を受け入れた人、その名を信じる人々には、神の子となる権能を与えた。13 この人々は、血によらず、肉の欲によらず、人の欲にもよらず、神によって生まれたのである。14 言は肉となって、私たちの間に宿った。私たちはその栄光を見た。それは父の独り子としての栄光であって、恵みと真理とに満ちていた。15 ヨハネは、この方について証しをし、大声で言

った。「『私の後から来られる方は、私にまさっている。私よりも先におられたからである』と私が言ったのは、この方のことである。」16 私たちは皆、この方の満ち溢れる豊かさの中から、恵みの上にさらに恵みを与えられた。17 律法はモーセを通して与えられ、恵みと真理はイエス・キリストを通して現れたからである。18 いまだかつて、神を見た者はいない。父の懷にいる独り子である神、この方が神を示されたのである。